



อิมมานูเอล ออร์เคสตรา

Tambun Project presents

Music with No Borders

from Bangkok with Immanuel Orchestra



“スラムの奇跡”

イマヌエルオーケストラがやってくる!!

イマヌエルオーケストラ 来日公演ツアー決定!

■日時: 2023年10月19日(木) 開場18時 | 開演19時

■会場: 日本福音ルーテル東京教会 JR新大久保駅 徒歩5分

■出演: イマヌエルオーケストラ

♪ Tambun Project:
新妻由佳子(vo)、宮野寛子(pf)

■音楽監督: 中川幸尚 Yukihisa Nakagawa



Yakako Niizuma



Hiroko Miyano

【演奏曲目】

- ・グリーグ: ホルベルク組曲
- ・Tambun Projectテーマソング「Garden」
- ・「Mama's song」
- ・タイと日本の曲メドレー ほか



チケット代金: 大人4,000円 | 小人2,000円 (高校生まで)
新宿区在住の方は200円引き(当日は身分証明書をご提示下さい)

アーカイブ配信3,000円(配信期間: 11月19日~12月31日)
※コンサートの模様を後日、ネット配信でもお楽しみいただけます。

チケット販売先:
(ライブ、配信共通)
<https://tambun.theshop.jp>



イマヌエルオーケストラ

イマヌエルオーケストラは、2015年にタイの首都バンコク中心部にある最大のスラム街クロントゥーイの中に設立された、

イマヌエル音楽学校の生徒と卒業生を集めて設立されました。

この音楽学校は2000年、「イマヌエル教会」に赴任していた

1人のノルウェー人宣教師による小さなヴァイオリン教室としてスタートしました。

イマヌエル音楽学校では将来の選択肢が極めて限られたスラムの子供たちの

自立と将来への希望のために無償で音楽教育が施されています。

現在は同スラム出身でこの音楽学校の最初の成功者ヴァリン・アートヴィライ氏はじめ

卒業生により学校とオーケストラの指導がおこなわれ、彼らの熱意により

次世代のスラム出身の子供たちの希望に満ちた未来のために、さらに活動を広げています。

成長を続けたイマヌエル音楽学校では、現在70~100人の子供たちが学ぶまでに成長しています。

Tambun Project

タイに所縁のあるミュージシャン、宮野寛子と新妻由佳子は導かれるように出会い、お世話になったタイに恩返しをしたい…そんな純粋な想いから始まったプロジェクトです。もう一人のメンバーは幼少期をタイで過ごし、東南アジアと日本を繋ぐNPO団体や地方自治体、タイ政府関連のチャリティープロジェクトをコーディネートした実績のある、山形まどか。子供の頃にタイで生活した経験は、その後の人生を豊かにし、何にも代え難い感性を磨く時間となりました。初めてのバンコクチャリティーツアーは2018年、イマヌエルオーケストラとの共演でした。貧困層の子供たちと音楽を通して関わり、夢や希望を与えられるような活動をしていきたいと思っています。



特定非営利活動法人/NPO法人

シャイン・フォー・ユー プロフィール

2013年、私たちはタイ・バンコクにおいて、音楽を中心とした様々な活動をスタート致しました。

そこでできたご縁を基に、音楽教育支援、寄付活動、スラムや地方の教育機関への楽器の寄贈、日本人演奏家の派遣などを続けてまいりました。

これらの活動に賛同してくださる支援者の力を結集し、日本を拠点とした活動へと発展させるべく、2023年7月にはNPO法人を設立し、この度のイマヌエルオーケストラ来日による国際交流事業、さらには青少年の健全育成事業、学術、文化、芸術及びスポーツの振興を図る活動など、より幅広い支援活動を行なってまいります。



加古川成子 ご挨拶

タイ最大のスラム地区に生まれたイマヌエルオーケストラ。

2017年、彼らの演奏を初めて聴いた時の、震えるような感動を今でも鮮やかに覚えています。そこには、貧富の差を超え、自信を持って演奏している彼らの姿がありました。

差別や誘惑に負けず逞しく生きている彼らの姿は、スラムで輝く一つの「奇跡」のようにも感じています。

この度、彼らの演奏を日本の皆様にご紹介できますこと、大きな喜びです。また、この公演が、日本とタイとの友好をより深めていく一助になれば幸いです。



■中川幸尚 (音楽監督、チェロ奏者)

2003年から2018年まで王立バンコク交響楽団に所属。1996年アジア・ユース・オーケストラ (AYO) に参加。AYO 選抜メンバーによるアジア・ユース室内オーケストラのメンバーに選ばれる。これまでに客演首席チェリストとしてアンサンブル神戸、マサタラ交響楽団、グアム・シンフォニーソサエティー、セラנגゴール交響楽団などに招待された他、日本やアジア各国のオーケストラに客演。大阪芸術大学非常勤助手、タイのシリパコーン大学音楽学部、ブラバ大学芸術学部、シーナカリンウィロート大学芸術学部講師を歴任。チェロを林俊昭、クリストフ・ヘンケル、トピナス・キューネ、クラウス・シュトゥルク各氏に、室内楽をDUO HAYASHI、澤和樹、岡山潔、森田玲子、クラウス・シュトゥルク諸氏に師事。平成音楽大学演奏員。熊本チェロの家主宰。



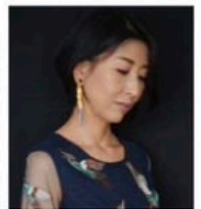
■新妻由佳子 (シンガーソングライター)

親の仕事の関係で14歳でタイに移住。現地のインターナショナルスクールを卒業。早稲田大学進学のため帰国。大学在学中より音楽活動を始め、2016年に全曲作詞作曲を手掛けた初のオリジナル・アルバム「対岸の人」を発売。同時期に自らが代表を務めるレーベル・音楽制作会社 Honeysuckle Music を立ち上げる。また自身の音楽活動と並行し、他アーティストへの楽曲提供も多く、妹でミュージカル女優の新妻聖子やジャンクフジヤマ、SAKURa、ジャズピアニスト佐山雅弘、ミュージカル女優木村花代など、提供アーティストは多岐にわたる。その他、CM、映画、舞台音楽などへ楽曲提供をするなど幅広く活躍している。



■宮野寛子 (ピアノ/作曲)

千葉・東京・北海道・タイ(バンコク)・静岡で育つ。日常から着想を得たオリジナル楽曲を中心に活動。そのサウンドは幅広く、ジャズ、ブラジル音楽をはじめ多くのミュージシャンとのコラボレーションを通して、ライブやレコーディングで独自の音楽世界観を表現している。透明感のある音色には定評がある。2011年ポニーキャニオン、14年ビクターエンターテインメントよりCDリリース。オリジナル楽曲は全国のFM局を中心としたラジオ局でオンエアされ、その他、日テレ系「news every」、テレビ神奈川「Weather report」の天気予報、CMなどで放送。富士宮市から依頼を受け、2019年シテプロモーションのためのCD「美守の都ふじのみや」を制作。ラジオパーソナリティーとして10年以上にわたり活躍。現在K-mix日曜朝7:00~「宮野寛子 一枚の写真から」放送中。



【会場へのアクセス】

公共交通機関:

- ・JR山手線「新大久保駅」徒歩4分
- ・JR総武線「大久保駅」徒歩9分
- ・都営大江戸線「東新宿駅」A1出口 徒歩7分
- ・副都心線「東新宿駅」B1出口 徒歩7分

日本播音ルーテル東京教会
新宿区大久保1-14-14・2F/Tel: 03-3209-5702

イマヌエルオーケストラ来日公演ツアーを応援!
クラウドファンディング
実施中!

【期間】8/21~9/30まで

